

(こども版) としょかんだより No.247

# わくわく本だな 2004年 9月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

いまむら あしこ  
今村 葦子さんの本



今村さんは、童話だけでなく、  
絵本や物語の翻訳など、多くの作品を  
書いています。

作品の中では、こころやさしい森の  
なかまたちが、たくさんかつやく  
します。

## 「ぶな森のキッキ」(えほん) 童心社

ぶな森に大あらしがやってきました。つぎの日から、  
リスのキッキは、なにもしゃべらず、なににも食べなくなってしまいます。  
なんと、キッキは、口の中でここのたまごをあたためていたのです。



## 「子うさぎのチノ」 ポプラ社

チノは、病気のいもうとのために  
雪の森にたべものをさがしにでかけます。  
でもなににもみつきりません。  
そんなチノをたすけてくれたのは  
雪だるまのおじさんでした。



## 「かがりちゃん」 講談社

かがりちゃんは、とってもおもしろい子  
です。「あれっ?へんだな。」と思うと、耳の  
あたりがぴくんとします。はじめは  
洋服ようふくが小さくなったときでした。

## 「こもり森シリーズ 1~5」 ほるぷ出版

こもり森は、動物たちのひみつのあそび場です。

### 「こもり森にでた森おばけ」

秋のこもり森は、おいしいものがいっぱい。動物の子どもたちがパーティーを  
していると、「じ、じ、じーっ」というふしぎな音がきこえてきました。



## 「空をとんだQネズミ」

あかね書房

Qネズミは、すみなれたお米屋さんが  
こわれ、家がなくなっていました。  
小鳥屋のふくろうから、すばらしい森が  
あるときいたQネズミは、空を飛ぶ決心を  
します。



## 「カエルのゴホム」

ほるぷ出版

ゴホムは、とってもなまいきなカエルです。  
どんな教室にいても追い出されるのです。  
そんなゴホムが、北のはずれをめざして、  
旅にでることになりました。  
ゴホムの大冒険だいぼうけんがはじまります。

# あたらしくはいった本

= 1・2年

= 3・4年

= 5・6年

えほん

「まじよのほうき」 さとう めぐみ/作 ハッピーオウル社

ほうきのえがおれて、まじよは空からおっこちてしまいました。  
まじよのほうきをとらが見つめて、ほうきをあたまにのせると、あら、ふしぎ！  
からだのしまもようがはずれて、ライオンに変身しました。



ものがたり

「ぼくはおばけのかていきょうし -きょうふのじゅぎょうさんかん-」

さとう まきこ/作 ポプラ社

ヒデくんのクラスのみよちゃんは、本当は三つ目こぞうです。  
ヒデくんは、みよちゃんがおばけだとバレずにくらししていくにはどうすれば  
いいか、いつも考えてあげています。きょうは、学校の授業参観の日。  
みよちゃんの家族に、人間のふりのしかたをいろいろ教えてあげました。



「妖怪ラムネ屋 -百怪寺・夜店シリーズ・1-」

越水 江利子/作 あかね書房

たっぺいが、百怪寺の前までくると、あやしい夜店がずらりとならんでいました。

ラムネ屋でゲームをすると、きれいな月玉のはいったラムネがあたりました。

教えてもらったふしぎな言葉をとなえながらせんをぬくと、たっぺいのたましいは、  
この月玉にとじこめられてしまいました。



「金曜日がおわらない」

アニー・ドルトン/作 文研出版

レニーはいつもしかられてばかり。5月23日金曜日、とうとうおなかの  
中にたまったストレスがばくはつし、もうれつなげっぷが出てきました。  
げっぷが紙切れを吹きとばし、机の上にきみような文字ができたのです。

“エーキューにきんようび”

そして次の日から、毎日、金曜日がかくりかえされるといふ悪夢がはじまったのです。

「天才ネコモーリスとその仲間たち」

テリー・プラチェット/作

ある日とつぜんかしくくなって、人間の言葉が話せるようになったネコのモーリスと  
ネズミたち。笛吹き少年と組んで村や町をまわり、ネズミを退治するふりをして  
お金をだましとっていました。

ところが、今度の町は、どうも様子がちがいで、ネズミがまったく見当たらないのです。  
そこは、不吉な影が支配する町なのでした。





「理科室から生まれたノーベル賞 田中耕一ものがたり」

国松 俊英 / 作

2001年10月、富山市出身の田中耕一さんがノーベル化学賞を受賞しました。理科室での実験が大好きで、おとなしいけれど自分の考えをしっかりと持っていた少年だった田中さん。ひたむきでねばりづよい性格、ユニークな発想が受賞につながりました。



月の本



すみきった夜空にかがやくお月さま。新月、三日月、満月とかたちを変える月は、秋はとりわけきれいです。月にちなんだ楽しいお話を紹介します。

「月へミルクをとりに行ったねこ」(えほん) スメードベレイ / 作 福音館書店

月にミルクがあると聞いたかあさんねこが、こねこたちのためにミルクを手に入れようと、月を追いかけます。でも、月はなかなかつかまりません。

「月夜のじどうしゃ」(えほん) 渡辺 茂男 / 作 講談社

今夜は十五夜です。おじいさんが大すきなハーモニカをふいていると、とつぜん目の前にたぬきの親子があらわれました。あんまりかわいいので、おじいさんはおもわず声をかけました。



「月へ行くはしご」 安房 直子 / 作 旺文社

けい子は、たんじょうびに、しろいうさぎをもらいます。でも、「うさぎはお月さまが大好きだから、まん月のばんには、にげられないようにして」といわれました。

「お月さまよんで」 おの りえん / 作 偕成社

つんたうさぎは、とうさんに「どうしてもこまったときは、お月さまにそうだんしな」といわれました。ある晩、おとうとが高温をだしました。こまったつんたは、まっくらな空にむかってお月さまをよびました。



「月からきたラブレター」 早川 真智子 / 作 小峰書店

月子は、ちょっと変わった女の子。転校した日に啓一のことを好きだと告白します。そのうえ、100年後の月の世界から、啓一を観察するためにきたのだというのです。

「まんげつ小学校の夜」 富安 陽子 / 作 新日本出版社

まんげつの夜に、ライオン岩のしおだまりで一晩だけの学校がひらかれると聞いたまさたと文子は、さっそく行ってみることにしました。いったいどんな子どもたちがくるのでしょうか。

# しいたい しらべたい



秋には、はげしい風雨をともなう台風が多く発生しますが、台風の目の中は、静かだといわれるのはどうしてですか。

次の本などで調べることができます。

- 「 台風のついでき 竜巻のつきゅう 」 小峰書店
- 「 ぼくらの天文・気象・地球 19 台風をとらえる 」 岩崎書店
- 「 トミザワおじさんの天気のはなし 」 誠文堂新光社



## シリーズしょうかい

- 「 10ぴきのかえる うみへいく 」 (えほん) 間所 ひさこ / 作 PHP 研究所  
10ぴきのかえるたちは、はじめてのうみでおおはしゃぎ。かんがえるが、  
「うみの水はどうしてからいのかな」とうみをのぞきこんでいると、大きな波にさらわれて・・・。



### 「 もりもり小学校 ときどきバースデーケーキ 」

薫 くみこ / 作 ポプラ社

校長先生の30年ごしのゆめをかなえるために、まじょさんたちがとくせいケーキをつくってくれました。

### 「 はりねずみとクシャミ病 」

イガー・カ・イジー物語

おの りえん / 作 理論社

くしゃみが止まらなくなったくまのダウンヒルさんのために、はりねずみイガーが大かつやくします。

### 「 ラブレターはわたしのもの!?! 」

- わたしのママは魔女 -

藤 真知子 / 作 ポプラ社

ある日、カオリのくつ箱に、ラブレターが山のように入っていました。

でも、それがぜんぶまちがいだと知ったカオリは大パニック!

「ママ、はやくまほうでたすけて!」

### 「 天小森教授、100点満点ひきうけます 」

野村 一秋 / 作 小峰書店

いつも成績の悪い哲平は、お母さんから「100点満点をとったら

ハワイ旅行に連れて行く」という約束をとりつけました。さっそく

天小森教授のところへ相談にいった、教えてもらった満点の取り方とは?



9 がつ

おやすみの日

9月2日(木)

9月6日(月)

9月13日(月)

9月20日(月)

9月23日(木・祝)

9月27日(月)

9月29日(水)から10月7日(木)まで

蔵書点検のためお休みします。